

# 実証機CDR 執筆作業について

羽島、坂中、小林、中村

2007. 10. 4

(全体設計Gr.、ビームダイナミクスWG)

# CDRの目的

- 1年半にわたる設計研究のまとめ
  - 内向き：
    - consistencyの確認
    - 検討項目に抜けがないことを確認
  - 外向き
    - 機関内外へのアピール
    - 予算申請書の補強材料
    - 利用者ソサイエティのためのリファレンス

# CDRの内容

- 実証機の位置づけ
  - 実用機のための要素技術の開発と実証
  - ユーザ利用施設として活用
- 要素技術ごとに
  - 実用機で求められる仕様
  - 実証機で開発、実証すべき項目と仕様
  - 開発、実証の鍵となる独自のアイデア
  - 将来期待される性能向上

# 作業日程

- 9月21日、目次案配布(eri-all 宛て)
- 10月4日、検討会、原稿執筆のお願い
- 10月末まで、原稿および材料提出
  - 執筆担当者→編集担当
  - とりまとめ作業(編集担当)
- 11月XX日、検討会、進捗状況の報告
- 11月15日、初稿完成
  - 回覧および校閲作業
- 11月30日、最終稿完成
- KEK刊行物として出版(オンライン、冊子)

# 原稿執筆要領

- MS-Word、または、LaTeX
- 下記のいずれかで提出
  - 図、参考文献等を含んだ完全な原稿
  - メモ＋材料（過去の発表資料、論文等）

後者の場合は、編集担当者が原稿を作成します。  
時間に余裕を持って提出ください。